

日経平均株価

1万7715円63銭

▲496円67銭 (前日比)

TOPIX

1442.09

▲40.14 (前日比)

2016

1/14

木曜日

Marketpress.jp

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861



## インフラ関連も好決算に期待

2月決算企業の第1期決算が相次いで発表されている。内容は個々の企業で異なるが、為替の影響を受けにくい企業で好内容のものが目立っている。週明けには人材サービス、ジェイコムホールディングス(2462)が2016年5月期の連結業績予想を上方修正した。カレールー専門店大手の壱番屋(7630)も8日大引け後の第2四半期決算を受けて改めて買われる展開となっている。

## 小売りや建設に目立つ

中国など外部環境の不透明感により、連休明けの東京市場は引き続き波乱の展開となった。そのなかで引き続き買われているのがフィンテック関連や自動運転などテーマに乗る銘柄と好決算企業。決算については、小売りや建設で好内容なものが目立っており、円高で輸出関連の不安が継続するなか、物色するうえで安心感が高まっている。

を営業利益で従来予想の9億8000万円から11億3500万円(前期比2.4倍)へ上方修正し年初来高値を更新。鉄スクラップ購入価格の値下がり効果で16年3月期の単体業績予想を上方修正した東京製鉄(5423)も急騰しており、昨年12月24日に16年5月期予想を上方修正したカレールー専門店大手の壱番屋(7630)も8日大引け後の第2四半期決算を受けて改めて買われる展開となっている。

# 波乱相場で強調展開

## 好決算銘柄に買い安心感

年初から日経平均の下落が続くなか、好業績銘柄への買い安心感が高まっており、方向感が定まらないなかで、当面、この傾向は続きそうだ。油圧式杭圧入引抜

機の技研製作所(6289)は16年8月期の第1四半期で前年同期比2倍の大幅増益なり、同社の好決算はインフラ整備などを手掛ける他の建設関連にも期待できる内容。外食では日本マクドナルドホールディングス(2702)の既存店が前年同月比8.0%増となっており、1月も好調なら見直し機連が高まりそうだ。

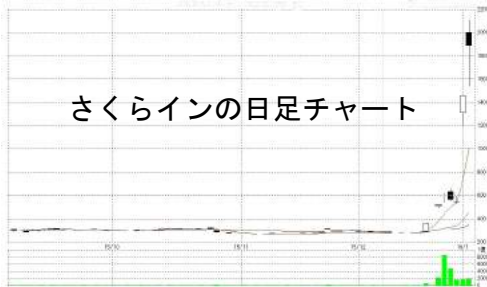
日経平均日足チャート



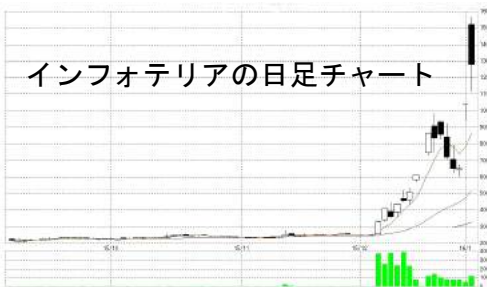
# フィンテック関連株人気続く

## さくら、インフォテリア連続S高

週前半の動意銘柄



週明け12日、さくらインターネット



フィンテックは本

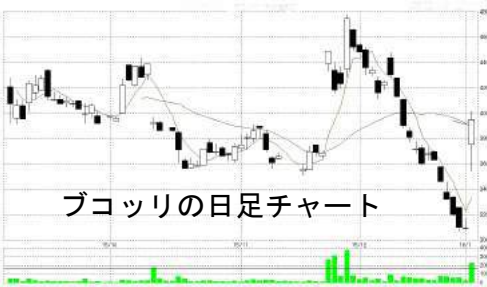
(3778)とインフォテリア(3853)が前週末に続いてストップ高に買われた。

7日取引終了後、テックビューロと協業し、プライベートルックビューロとの協業を発表したSJI(2315)もストップ高に買われた。

12日、ブロッコリー(2706)が前週末比80円高の389円とストップ高に買われ、KLab(3656)も急騰。両社は8日大引け後に業務提携を発表した。今回の提携第1弾として新規スマートフォン向けゲームアプリを共同開発、関連事業(プロモーション、イベント運営等)において

### KLabと業務提携

も、相互に協力関係を構築していく。



### ブロッコリス高

格的な普及期を迎え、関連銘柄は業容拡大の可能性に加え、規制緩和によるM&Aを含めたアライアンスの思惑も底流している。この日、テックビューロとの協業を発表したSJI(2315)もストップ高に買われた。

12日、イオン(8267)が大幅下落、前週末比189・5円安の1590円まで下げ幅を広げた。8日取引終了後に発表した2016年2月期第3四半期の連結決算で、最終損益が174億7400万円の損失(前年同期293億6400万円の利益)と赤字に転落したことが嫌気された。

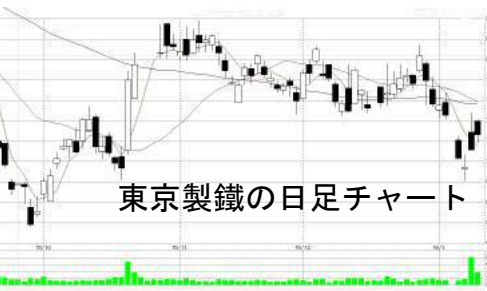
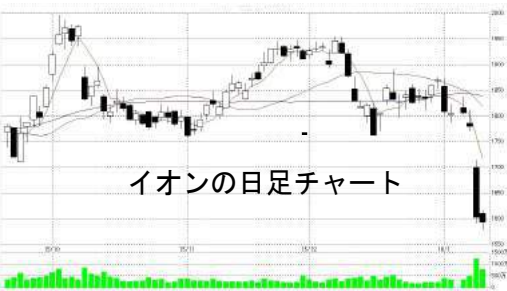
### イオン第3四半期最終赤字を嫌気

新規連結企業の段階取得に係る差益の減少のほか、税率変更の影響を含めた法人税、少数株主利益の増加などが最終損益を圧迫した。

### 東製鉄が急反発

今3月期業績予想を増額

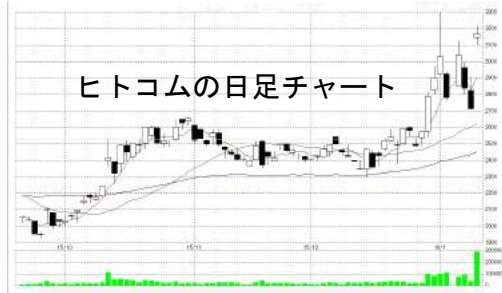
12日、東京製鉄(5423)が急反発、一時前日比54円高の748円まで買われた。8日大引け後に発表された今16年3月期の単体業績予想の修正を発表。売上高を従来予想の1320億円から1340億円(前期比19・1%減)へ、営業利益を130億円から170億円(同28・7%



増)へ増額。主原料の鉄スクラップ価格が一段と値下がりし、軟調な原油価格を映し電力料金や燃料費などエネルギーコスト低減も想定以上に拡大している。

# ヒトコムS高に買われる

## 株式分割と上方修正発表受け



13日、ヒト・コム（3654）が急反発、ストップ高となる前日比50.4円高の3215円まで上げ幅を広げた。12日取引終了後、株式分割と今2016年8月期第2四半期業績予想の上方修正を発表したことを受け、買い気が再燃した。

株式分割は1月31日を基準日とし、1株を2株へ分割を実施、効力発生日は2月1日になる。業績は第2四半期累計（15年9月〜16年2月）の連結業績について、売上高136億8000万円（前年同期比8.9%増）は前回予想を据え置いたが、営業利益12億1500万円を13億7000万円（同34.6%増）、純利益6億8600万円を8億1000万円（同42.1%増）へ引き上げるなど利益予想を増額。

ブロードバンド分野で光回線の卸売サービスを開始したことに伴い、新規参入事業者向け販売受託事務局案件が業績を牽引する。

同時に発表した第1四半期（9〜11

月）の連結決算は、売上高70億9200万円（前年同期比12.0%増）、営業利益9億2900万円（同68.4%増）、純利益5億5200万円（同75.6%増）と大幅増収増益を達成しており、一段の業績上ぶれも意識されたようだ。

13日、アーケン（3927）がストップ安。12日取引終了後、顧客情報に関する恐喝未遂事件が発生したと発表されたことを嫌気した売りがかさんだ。

4日に同社サーバへ不正アクセスし、顧客企業リストの一部を窃取、要求額を支払わなければ情報を公開すると恐喝する匿名封書を受け取ったとしており、事実関係の調査と再発防止に向けた対応を進めているという。

窃取された可能性が判明している顧客企業は3859社。セキユリティ対策強化費用が新たに発生する見込みで、業績への影響を現在精査しており、確定次第、速やかに開示するとしている。

## アーケンS安 顧客情報で恐喝未遂事件が発生

13日、トヨタ自動車（7203）が急反発、一時前日比250円高の7005円まで買われた。同社は12日、1月11日から開催されている北米国際自動車ショーで、米Kyomete社がもつ衛星通信技術を活用し

## トヨタが急反発

### 米ショーで衛星通信機能搭載車出展

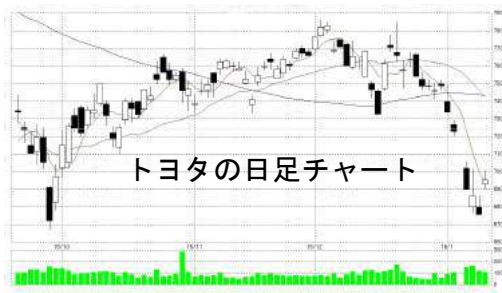
13日、トヨタ自動車（7203）が急反発、一時前日比250円高の7005円まで買われた。同社は12日、1月11日から開催されている北米国際自動車ショーで、米Kyomete社がもつ衛星通信技術を活用し

た燃料電池自動車の「MIRAI」の実験車を参考出展したことを発表した。

従来の衛星通信アンテナは衛星を捕捉するため、パラボラアンテナのような曲面の形をとるものが通常だが、Kyomete社は液晶技術と

ソフトウェアを用いることで、こうした形状を要することなく、電子的に衛星を補足できる独自技術を有している。

そのため、アンテナを平面化、小型化し、車載に適したものにすることが可能という。衛星通信には車両へ大量のデータを配信できるなどのメリットを有することは今回展示の衛星通信機能の車



13日、レイ（4317）がストップ高。12日大引け後に今2月期の第3四半期（15年3〜11月）累計決算を発表、連結営業利益で前年同期比54.5%増の6億900万円と大幅増益となったことが好感された。セールスプロモーション・イベント部門が堅調に推移、映像機器レンタル部門も秋の展示会シーズンで受注が拡大している。

## レイがS高

13日、レイ（4317）がストップ高。12日大引け後に今2月期の第3四半期（15年3〜11月）累計決算を発表、連結営業利益で前年同期比54.5%増の6億900万円と大幅増益となったことが好感された。セールスプロモーション・イベント部門が堅調に推移、映像機器レンタル部門も秋の展示会シーズンで受注が拡大している。

# ITのビジネス活用

## New Growth

# フイんテツクに次ぐ

# 新たなテーマ

株式市場ではIT技術を金融分野で活用するフイんテツク（ファンナンスとテクノロジーを組み合わせた造語）関連が話題を集めているが、IT技術については金融以外にも様々な分野で一段と活用が進んでいる。そのひとつが企業活動で切り離すことができない存在であるビジネスフォンの分野。最先端のスマートフォンの技術と融合することで通信大手各社が新たな取り組みを進めている。

企業活動においてビジネスフォンは必要不可欠な存在だが、近年、スマートフォンのビジネスシーンでの利用が拡大するなかで、ビジネスフォンとスマートフォンを連携した新たなサービスを行う動きがはじまっている。この動きで、これまでの発想を転換させる動きとして注目されているのが、ビジネスフォン大手であるサクサホールディングス（6675）とナカヨ（6715）の取り組みだ。



現在、多くの企業では営業マンがスマートフォンを業務用として携帯し、外出先で顧客との連絡で利用、スマホはデータの送受信でも利用さ

れ営業ツールとしての重要度が高まっている。一方、営業拠点に設置されているビジネスフォンも従来通り顧客との連絡では必要な存在だが、その拠点で営業マンが不在の場合、外出先の営業マンに営業拠点の社員が連絡するが、連絡が遅れば、営



ビジネスフォンもITの活用で変革期を迎える

# 通信費削減と効率化

## 「BUNZBIZ」が起爆剤に！

New Growth



区に本拠を置くパルスアンドデシベルが開発したシステム。このシステムの特徴は、スマートフォンをオフィスの固定電話の子機として使用でき、外出先での会社との通話は全て内線となり通話料金が発生しない。

な顧客情報システムを搭載というもの。ビジネスフォンを利用する企業にとっては、スマートフォンがビジネスフォンの子機として利用できることから、業務の効率化と通信費削減が一体できるといふメリットは大きい。

この楽天コミュニケーションズが開発する「BUNZBIZ」にサクサホールディングスとナカヨが自社のビジネスフォンと融合することで新たな企業のビジネス活動効

率が向上する。NTT(9432)を含めて新たな成長分野の開拓が必要不可欠なだけに今後の動向は見逃せない。

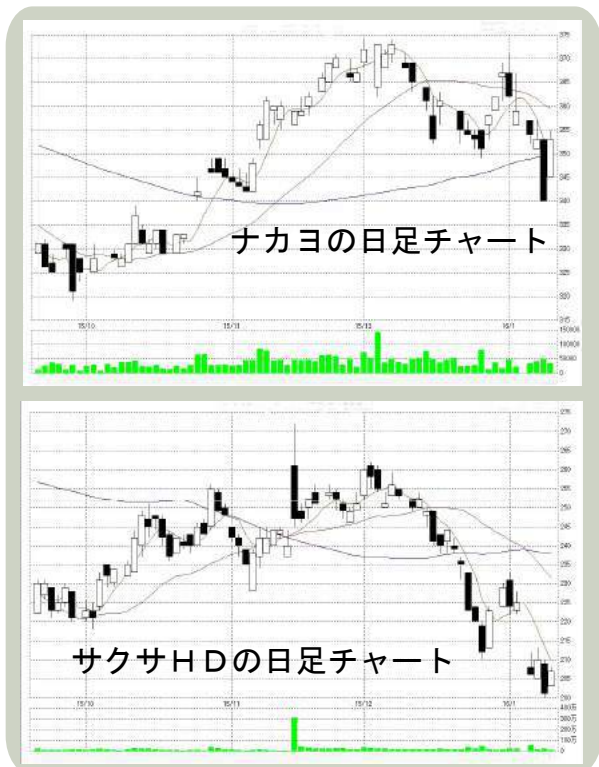
業を行ううえで、大きな損失につながるケースが生じてくる。この問題を解決するにはビジネスフォンとスマートフォンを一体化すればいい、その発想を実現するのが、**楽天**(4755)傘下の楽天コミュニケーションズがシステム販売を行う「BUNZBIZ」だ。

これに加えてスマートフォンが子機になるので外出先から顧客に連絡してもオフィスの固定電話(親機)からの発信になり高額な携帯電話料金ではなく固定電話の料金で通話。顧客からの電話を番号で認識し、パソコン画面上で過去の取引履歴や会話内容を即座に閲覧。担当者が不在でもスムーズな対応が可能

ITの活用がフィン

# スマホと一体化目論む

## ナカヨとサクサHD



# 星野三太郎の 株街往来

## ～先見の明～

大発会を終え

て、週末には企業の新年会に2社程度参加させてもらった。

一年前にその会で中国に拠点を置く商社の総務部長に話を伺ったときには、「中国の経済はかなり悪いヨ」という言葉を覚えていたが、それから一年後に合った今回は、「現状は1年前からさらに悪くなっている」とのことだった。既にその企業は中国での事業縮小を終えているそうだが、これと連動して為替も1ドル115円程度までの円高を想定して、対応を進めているようだ。

昨年から今年にかけて株式市場は中国などの外部環境に右往左往しているが、毎回、取材などを通じて感じることは、現地で活動している方の生の声が重要だということ。今月末からは3月決算企業の第3四半期決算が本格化するが、今期の為替を120円程度に想定している企業が多かったと思う。1年前から、悪い状況を察知して、行動している企業はその被害を最小限に抑えることができるだろう。

決算内容をみれば、その企業の「先見の明」を感じることができると思う。目先の株価変動に動じず投資家も「先見の明」を持つ企業を見抜く眼を持つことが重要だと感じる。



## New product

### 「ぼくのレストランII」

enish

#### スヌーピーとのコラボ第2弾



コラボキャンペーンの限定アイテム

「スヌーピー」とのコラボレーションキャンペーンを1月3日から31日まで期間限定で実施している。

今回のコラボは2013年6月に実施した企画に次ぐ第2弾。新アイテムはもちろんのこと、第1弾で人気を博した復刻版アイテムも登場し、スヌーピーの世界へ引き込まれるアイテムが入手できる。インテリア、洋服、ぬいぐるみ、料理などこの機会ではか入手できない限定アイテムが多数登場する。

enish (3667) は、テレビ東京コミュニケーションズと協同で、レストラン経営シミュレーションゲーム「ぼくのレストランII」において、「スヌーピー」の

## 電解水素水を共同研究

日本トリム、東京大学と



### 走査電子顕微鏡での研究風景

定法機器品省生は水素電  
され器療の医所労働厚解  
規等療薬管働水電

日本トリム(6788)は東京大学工学系研究科と電解水素水の物性及び機能の解明を目的に産学共同研究を開始すると発表した。

た管理医療機器「電解水素水整水器」から生成され、アルカリ性で抗酸化性のある水素を豊富に含んでいる。電解水素水は、抽出力が高く、また、既に多くの研究論文が発表されている抗酸化性といった機能を有している。

それらの機能を物性の側面からメカニズムを明らかにし、特性を活かしたより高機能な電解水素水の生成方法、活用法の開発に取り組み。電解水素水は、飲用のみならず血液透析といった医療分野や、農業分野などでの多用途化が進んでおり、今回の研究を通じて電解水素水の市場拡大に取り組んでいく。

企業レター